

事業所名		児童発達支援事業所おひさま		支援プログラム		作成日		6 年 12 月 21 日	
法人（事業所）理念		そだてよう たくさんの「できた！」とたくさんの ちやれんじで！							
支援方針		「一人ひとりに寄り添いながら」「ゆっくりのんびり焦らずに」一人ひとりのペースを大切にじっくり向き合いながら「自然いっぱいの環境で」友達との遊びを土台に新たな可能性を見つ けながら、その子らしく輝けるように、子供さんは勿論、ご家族と一緒に「笑顔いっぱい」になれるようにサポートしていきます。							
営業時間		8 時 00 分から 17 時 00 分まで		送迎実施の有無		あり なし			
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・ 定期的な心身の確認、把握 定期的、定時の利用による生活リズムの安定。 衣服の調整、換気、病気の予防や安全面の配慮。 ・ 身だしなみや整え、衣服の着脱（戸外遊びや水遊び等の活動の前後で取り組む） ・ S S T などによる身体的、精神的、社会的訓練、構造化を意識した部屋のレイアウトや掲示。							
	運動・感覚	・ 視覚、聴覚、臭覚、触覚、固有覚、前庭覚などの感覚活動。 ・ つかむ、支える、すべる、踏ん張るなどの要素を取り入れた遊具の遊びの提供。 ・ リズム遊び ・ 姿勢保持や上肢、下肢の運動動作の改善（巧技台、鉄棒、バランスボール、固定通具等を用いて） ・ 感覚の特性（過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整。							
	認知・行動	・ 物質の変化と感覚の認知形成（砂、土、水などの自然物質と小麦粉、スライム、粘土などの人工物質による変化と感覚の認知形成。 ・ 天気、気温（温かい寒い程度）、日付の把握と確認による感覚、数の認識形成。 ・ タイムテーブル、カウントダウンによる時間や数の認知形成。 ・ 小集団でのゲームでの適切な行動形成、認知の偏りの配慮。 ・ ABA（応用行動分析学）などにより感覚、認知の偏りに対するリフレーミング。 ・ 季節の変化への興味、気付きなどの感性形成の為の外出行動。							
	言語 コミュニケーション	・ 始まりの会は発達に合わせた会話のやり取りや自己紹介などの発表。 ・ 帰りの会で発達に合わせた活動の振り返り（気持ちを交えて）の発表。 ・ 言語だけのコミュニケーションだけでなく、言葉での表出が難しい際の伝達方法。（表情や身振り等） 具体的事象や体験と言葉の意味を結びつける事等により、自発的な発声、発語を促す。 ・ 個々の発達に配慮された場面における人との相互作用やその中で相手の意図を理解したり、自分の気持ちや考えを伝えるなどの言語の受容と表出。 ・ 場面や状況に合わせた伝達方法や言語表出方法。							
	人間関係 社会性	・ アタッチメントの形成と安定。（毎月のわらべ歌遊び等） ・ 見立て遊び、つもり遊びやごっこ遊びの組み合わせ。 ・ 一人遊びから並行遊び、大人が介入する連合遊びの組み合わせ。 ・ 役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊び。 ・ 地域施設や、公共の場への社会見学。 ・ イベントなどを通じた地域との交流。							
家族支援		保護者の思いを受け止めながら必要な情報を提供して一人ひとりの子どもの発 達、成長にを一緒に見守り、家族全体の支援に繋がるよう定期的な育児相談や触 れ合い活動を行う。		移行支援		通所園への移行支援（通所中心の療育終了を目指す） 就学に向けた移行支援			
地域支援・地域連携		母子保健 医療機関 保健所、保育園、幼稚園、子供園、小学校、特別支援学校 児童発達支援事業所、放課後デイサービス事業所 地域の事業連絡会への出会 など		職員の質の向上		スキルアップ研修			
主な行事等		園外活動・クッキング・リトミック・季節の遊び・わらべうた・菜園作り・感覚遊び・体験あそび・出張読み聞かせ会・親子触れ合い活動・避難訓練							